

サービスご説明資料

はたらく人のカラダを見える化

転倒・腰痛リスクを数値で確認

職場の転倒・腰痛リスクを可視化して
安全対策をサポート！

はたらく人の健康を守り、企業のリスクを削減

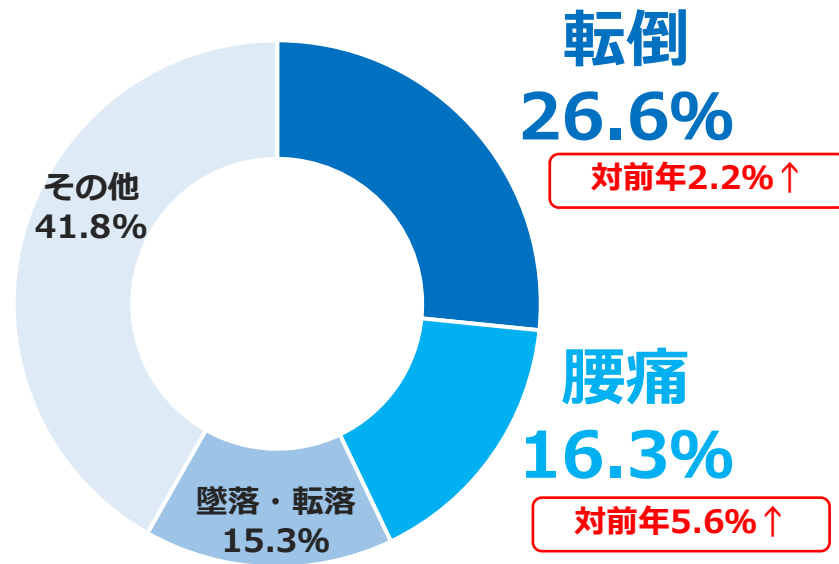
転倒・腰痛対策.com
ロボタスネット株式会社



労働災害の上位2つが「**転倒**」と「**腰痛**」です！ ※休業4日以上を要する労働災害
事故の発生とその後の休業期間が長期化する特徴があり、企業の安全管理において早期の対策が必要です。

【令和5年労働災害の発生状況】

休業4日以上労働災害発生状況



転倒による **平均休業見込日数は48.5日**
これは、企業にとっても大きな損失です！

【第14次労働災害防止計画（令和9年まで）の目標】

- ◆ 転倒災害の**増加を抑制**（特に高年齢労働者のリスク）
- ◆ 転倒による平均休業見込日数を40日以下に短縮（転倒→骨折・ねんざ・打撲になり休業へ）
- ◆ 腰痛リスクの高い作業の負担軽減策を強化

職場の高年齢化が進む今、リスク管理が不可欠！

企業が早急に対策を講じることで、
労災リスクを低減可能！

本サービスは、**転倒・腰痛リスクの可視化と個別アドバイス** を組み合わせ、**企業の労働災害防止と健康経営を支援** するものです。

**転倒・腰痛リスクを見える化し、
企業の安全管理を強化！**

**リスクデータを活用し、
職場の転倒・腰痛を防ぐ**

- ✓ リスクの見える化→フィジカルチェック&アセスメントでリスクを数値化
- ✓ 実践サポート→運動指導+安全対策で転倒・腰痛を防ぐ！
- ✓ 知識提供→最新の転倒・腰痛対策を学べる講座を提供！



業務上での負傷が増加し、業務の停滞や人材確保の課題が深刻化している。
従業員の健康管理や安全対策の不足により、生産性の低下や離職リスクが高まっている。

コストが増加



健康管理対策が不十分なため
人員補填への費用が増大

行動災害の増加により、転倒・腰痛による休業者が増えている

生産性の低下



作業へのパフォーマンスが上がらず
業務効率が低下

体力や柔軟性の低下が原因で、
作業速度や精度が下がる

従業員満足度の低下



健康リスクが高い職場では
離職率が上昇

企業のブランドカや採用力にも影響。
対策が遅れると競争力低下の恐れ

Point 1



職場の安全対策を科学的に進め、リスクを見える化して予防策を導入

フィジカルチェックを通じて転倒・腰痛リスクを評価し、個々の状態や職場環境と特性を分析します。

リスク判定の結果を基に、個人と職場全体を俯瞰し、企業の持続的な成長を支える安全対策と健康施策を実施できます。

Point 2



運動習慣の定着を支援し、体力向上や仕事効率の向上を実現

個人向けの運動指導と職場単位での習慣化プログラムを提供し、従業員の体のコンディションを整えます。

転倒や腰痛のリスクを軽減しながら、健康経営を推進し企業全体の生産性向上につなげます。

Point 3



高齢化する職場に対応した予防策と改善策を提供し、職場環境の安定化を図る

高年齢従業員のフレイル（身体機能低下）を評価し、適切な予防対策を提案します。

筋力・バランス能力・持久力を総合的に分析し、作業継続のための改善策を提示。長く健康に働ける環境を支えます。

Point 4



企業の健康経営推進を支援し、安全かつ健康な職場づくりをサポート

スポーツエールカンパニー認定の取得支援を通じて、企業の健康経営の取組みを強化します。

運動施策の計画策定から実施まで一貫したサポートを提供し、企業ブランディングや人材確保に貢献します。

当社が提供する転倒・腰痛リスク対策サービスによって現状分析を行い、対策を推進。
企業のニーズに応じてカスタマイズ可能なプログラムを提供。

①フィジカルチェック & アセスメント



厚生労働省推奨の転倒・腰痛リスク評価に準じた内容を測定。

転倒・腰痛リスクを個人と職場全体で分析し、理学療法士とAIがデータに基づいた改善策を提案。安全な職場環境の構築を支援します。

④職場のフレイル チェック



高年齢従業員の健康リスクを可視化し、作業継続をサポート。

筋力・バランス能力・持久力を評価し、リスクを可視化。予防策の提案と適切な運動指導を行い、健康で働き続けられる職場環境を実現します。

②転倒・腰痛対策 教室の開催



転倒・腰痛の基礎知識と実践的対策を学ぶ研修プログラム。講義+実技を組合せ、職場で取り組める具体的な対策を学べます。

リーダー向け・現場従業員向けの教育プログラムにも対応し、職場の安全意識の向上と企業文化の醸成を支援します。

⑤スポーツエール カンパニー認定 サポート



健康経営を推進し、認定取得をサポート。健康施策の計画策定から運用までを支援し、企業ブランディングを強化。

従業員の健康増進と働きやすい環境づくりに貢献します。

③本気のラジオ体操 + ビフォーアフター チェック



ラジオ体操インストラクター「ラジねえ。」によるラジオ体操講座で、職場の運動習慣を再び！

正しい理解でラジオ体操を実施し、運動効果を最大限引き出します。

ビフォーアフターチェックにより改善を可視化し、継続意欲を高めます。

① フィジカルチェック & アセスメント

フィジカルチェック

厚生労働省推奨の**転倒・腰痛リスクチェック項目**に準じた従業員さま向けフィジカルチェックを実施。バランスや筋力の不足を可視化し、個々のリスク要因を把握。専門家による分析でリスクに応じた改善策を提案し、企業全体の事故防止につなげることができます。

【転倒リスクチェック項目】

I. 身体機能の計測

- バランス能力：片足立ち
- 俊敏性：座位ステップングテスト
- 柔軟性：ファンクショナルリーチ
- 筋力：2ステップテスト

転倒等リスク評価セルフチェック票

I 身体機能計測結果

① 2ステップテスト (歩行能力・筋力)
あなたの結果は cm / cm (身長) =
下の評価表に当てはめると → 評価

評価表	1	2	3	4	5
結果 / 身長	~1.24	1.25	1.39	1.47	1.66~

② 座位ステップングテスト (敏捷性)
あなたの結果は 回 / 20秒
下の評価表に当てはめると → 評価

評価表	1	2	3	4	5
(回)	~24	25	29	44	48~

③ ファンクショナルリーチ (動的バランス)
あなたの結果は cm
下の評価表に当てはめると → 評価

評価表	1	2	3	4	5
(cm)	~19	20	30	36	40~

II. 身体的特性の自己評価

日常生活などでの転倒に関する不安や対応力への設問に自己評価方式で回答。

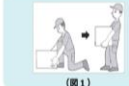


質問内容	回答No.
1. 人ごみの中、正面から来た人にぶつからず、よけて歩けますか	①自信がない ②あまり自信がない ③人並み程度 ④少し自信がある ⑤自信がある
2. 同年代に比べて体力に自信がありますか	①自信がない ②あまり自信がない ③人並み程度 ④やや自信がある ⑤自信がある
3. 突発的な事態に対する体の反応は素早い方だと思いますか	①素早いと思う ②あまり素早い方と思う ③普通 ④やや素早い方と思う ⑤素早い方と思う
4. 歩行中、小さい段差に足を引っ掛けたとき、すぐに次の足が出ると思えますか	①自信がない ②あまり自信がない ③少し自信がある ④かなり自信がある ⑤とても自信がある
5. 片足で立ちまわったり下を覗くことができると思いますか	①できないと思う ②最近やっていたらできなと思う ③最近やっていたら何回かに1回はできると思う ④最近やっていたらできると思う ⑤できると思う
6. 一直線に引いたラインの上を、踵を足歩行(後ろ足のかかとを前足のつま先に付けるように歩く)で簡単に歩くことができると思えますか	①踵を足歩行ができない ②踵を足歩行はできるがラインからずれる ③ゆっくと歩ける ④普通でできる ⑤簡単にできる
7. 腰を離して片足でどのくらい立つ自信がありますか	①10秒以内 ②20秒程度 ③40秒程度 ④1分程度 ⑤それ以上
8. 電車で乗って、つり革につかまらずにのり立ちっただけだと思えますか	①10秒以内 ②30秒程度 ③1分程度 ④2分程度 ⑤3分以上
9. 腰を離して片足でどのくらい立つ自信がありますか	①15秒以内 ②30秒程度 ③1分程度 ④1分30秒程度 ⑤2分以上

【腰痛リスクチェック項目】

I. 身体機能の計測

- 柔軟性①：立位体前屈
- 柔軟性②：腰沈み込みテスト
- 筋力：プランクチャレンジ
- 姿勢評価：壁姿勢テスト

腰痛リスクの回避・低減対策 (チェックリスト)

<作業環境管理>

- 作業場所などで、足もとや周囲の安全が確認できるように適切な配慮を促す。
- 転倒、つまずきや滑りなどを防止するため、凹凸や段差がなく、滑りにくい床面とする。
- 立ち作業の場合、作業機器や作業台は労働者の体形を考慮したものを配置する。
- 両足をあまり使用しない立ち作業では、適当な高さの片足置き台を使用させる。
- 座り作業の場合、椅子は労働者の体格に合ったものを使用させ、机、作業台の高さや椅子との距離は調節できるようにする。

<健康管理と労働衛生教育>

- 腰痛予防健康診断 (配慮時、6か月以内ごとに1回) を行う。
- ストレッチを中心とした腰痛予防体操を行わせる。 (図3)
- 腰痛のリスクと原因、作業標準 (作業姿勢など)、荷役機器・補助具の使用状況、腰痛予防体操などについて、教育 (配慮時など) を行う。

もっと詳しく!
「職場における腰痛予防対策指針」では、腰痛予防の取組みを紹介しています。
腰痛予防指針 検索

ご不明な点などは、お近くの都道府県労働局または労働基準監督署へお問い合わせください。

II. 身体的・職業的特性の質問

最新の腰痛発生知見に則ったリスク判定への設問に回答 **BPSモデル**※に則った内容を加え、個人因子や心理因子も反映

業種や作業環境に基づく腰痛リスク判定への設問に回答

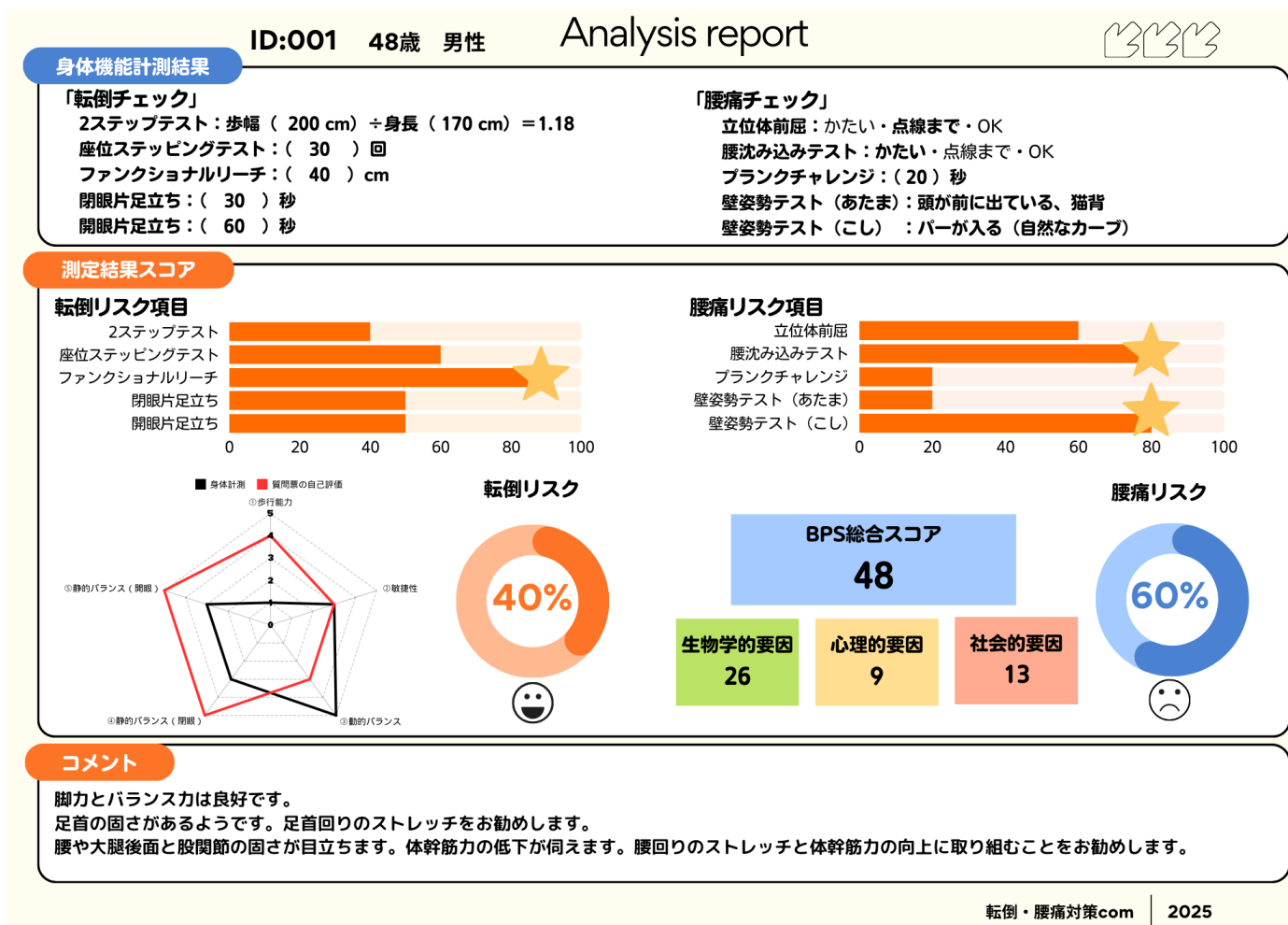
※ **Biopsychosocial (BPS) モデル**とは、産業保健における腰痛対策の最新の考え方であり、生物学的 (Biological)、心理学的 (Psychological)、社会的 (Social) 要因が相互に影響し合い、痛みの発生や慢性化に関与するというモデルです。本サービスでは、このモデルに基づき、身体的な状態だけでなく、ストレスや職場環境なども考慮した腰痛リスクチェックを実施します。

① フィジカルチェック & アセスメント



アセスメント

従業員さま個別の測定結果レポートで管理。項目ごとのスコアが一目で確認できます。



① フィジカルチェック & アセスメント



アセスメント

作業場全体の測定結果とリスク分析シートを提供

実施総数: 50名 男性20名 女性30名

- ・転倒リスク保有者
 - ・腰痛リスク保有者
- を3段階で表示

全体の傾向を把握できます。

年齢別にリスク保有者を表示

年齢ごとに異なるリスクを考慮して適切な対策が可能に！

リスク分布

- 低リスク
- 中リスク
- 高リスク

男女別結果

- 低リスク
- 中リスク
- 高リスク

年齢別結果

全体コメント



全体的なリスク分布を見ると、約半数が転倒リスクで中リスク以上、約7割が腰痛リスクで中リスク以上に該当しています。特に中高年層に対しては、腰痛や転倒のリスクが高まる傾向がみられます。このため、職場全体での体操の実施や、転倒・腰痛教室の開催が推奨されます。定期的なフィジカルチェックと共に、これらの対策を導入することで、従業員の安全を確保し、職場全体の健康管理を強化することが可能です。

男女別にリスク保有者を3段階で表示

性別に応じた個別の対策や健康管理計画の策定が可能に！

総合コメントを表示

職場のリスク傾向を把握し、推奨される対策を知ることができます。

○転倒リスク者向け

【ストレッチ系の運動】

10秒ストレッチ 3回



10秒ストレッチ 3回



10回まわし



【筋トレ系の運動】

20回を目標に 3set



20回を目標に 3set



20回を目標に 3set



○職場でも

腰を沈める



背中を伸ばす



アキレス腱伸ばす



○腰痛リスク者向け

【ストレッチ系の運動】

10秒ストレッチ 3回



10秒ストレッチ 3回



10秒ストレッチ 3回



【筋トレ系の運動】

30秒キープ 3set



60秒キープ 3set



20回を目標
3set



- ・推奨の運動回数や強度を個別に調節
- ・効き目の部位を示すことで運動の理解と効果の実感につながる！

② 転倒・腰痛対策教室の開催



職場の安全と健康を守るために

転倒や腰痛は、職場での事故や業務効率の低下につながる重大な課題です。

多くの企業が対策に取り組んでいますが、最新の知見を活用した対策を継続的に実施することが重要です。本教室では、最新の研究・業界動向をもとに、理学療法士が実践的なセルフチェックとセルフエクササイズを指導し、従業員の健康維持と企業の安全対策をサポートします。

教室の内容

- ・ 最新の転倒・腰痛対策情報を提供
- ・ セルフチェック方法を伝達 自分を知る
- ・ セルフエクササイズで予防策を習得
- ・ 職場のリスク管理強化



学びと実践が鍵！

「腰痛診療ガイドライン2019」では、腰痛の予防・管理には適切な教育と運動療法の導入が有効であると推奨されています。また、転倒に関して、労働安全衛生の観点から、リスクの見える化と適切な運動習慣の定着が重要とされています。本教室を活用することで、転倒・腰痛への理解を深め、職場の安全と健康を守る効果的な対策を実践しましょう！

③ 本気のラジオ体操 + ビフォーアフターチェック



正しいフォームで行うラジオ体操は、転倒・腰痛の予防に効果的です。
本プログラムでは、動作のポイントを解説しながら指導し、身体の使い方を改善します。
さらに、体操継続の前後でビフォーアフターチェックを行い、身体の変化を可視化することで、
継続のモチベーションを高めめます。



短時間で実施できるので、朝礼や業務の合間にも取り入れやすく、
職場の運動習慣の定着につながります。

運動を習慣化することで、従業員の健康維持と生産性向上を同時に
実現し、安全な労働環境の構築をサポートします。

④ 職場のフレイルチェック

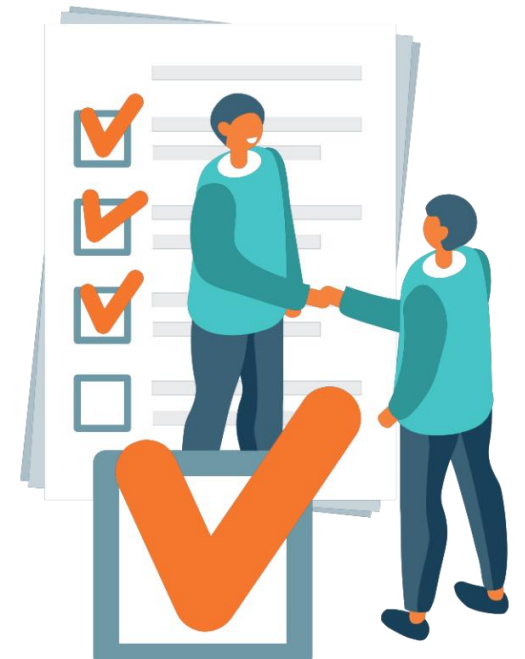


加齢に伴う身体機能の低下（フレイル）は、転倒や腰痛のリスクを高め、労働生産性にも影響を与えます。

本プログラムでは、筋力・バランス能力などを測定し、自分の感覚と実際の身体の状態のギャップを認識することで、現状を可視化します。高年齢従業員が安心して働ける職場環境づくりを支援します。

定期的なチェックにより、身体機能の変化を把握し、適切な運動プログラムを提案することで、長く健康に働ける環境を維持できます。

企業の健康経営の一環として、従業員の就労寿命を延ばし、職場の活力向上につなげましょう。



⑤ スポーツエールカンパニー認定サポート



スポーツエールカンパニー認定は従業員の健康促進に積極的な企業を評価する制度です。本プログラムでは、認定取得を目指す企業に向け、運動施策の計画立案から実施支援までを提供し、健康経営の推進をサポートします。



認定取得は、企業のブランディングや人材確保にも活用でき、従業員の健康意識を高めるきっかけになります。

職場に運動習慣を根付かせ、健康的な労働環境を整えることで、企業の成長と持続可能な経営につなげましょう。

手軽さを実現した安全管理DXを推進



DXを活用したデータ管理によって新たな時代の健康管理と安全対策を定着させます。

Googleフォーム×スプレッドシートによる
データ収集。

導入の手間なしでデータを可視化。
入力の手間とハードルを極限まで下げ、紙での
管理体制から脱却します。



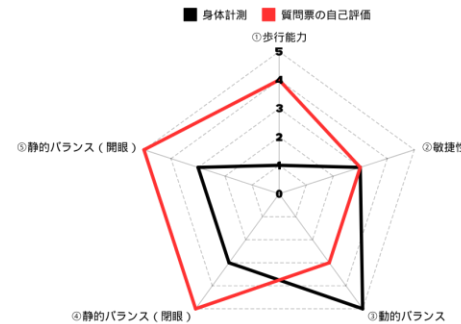
Google Forms



Google Sheets

レーダーチャートやドーナツグラフで視覚的に
リスクを表示。

測定結果の数値から、リスクレベルのスコア判
定まで自分の状態を知ることができます。



転倒リスク



腰痛リスク



サービス内容のご紹介



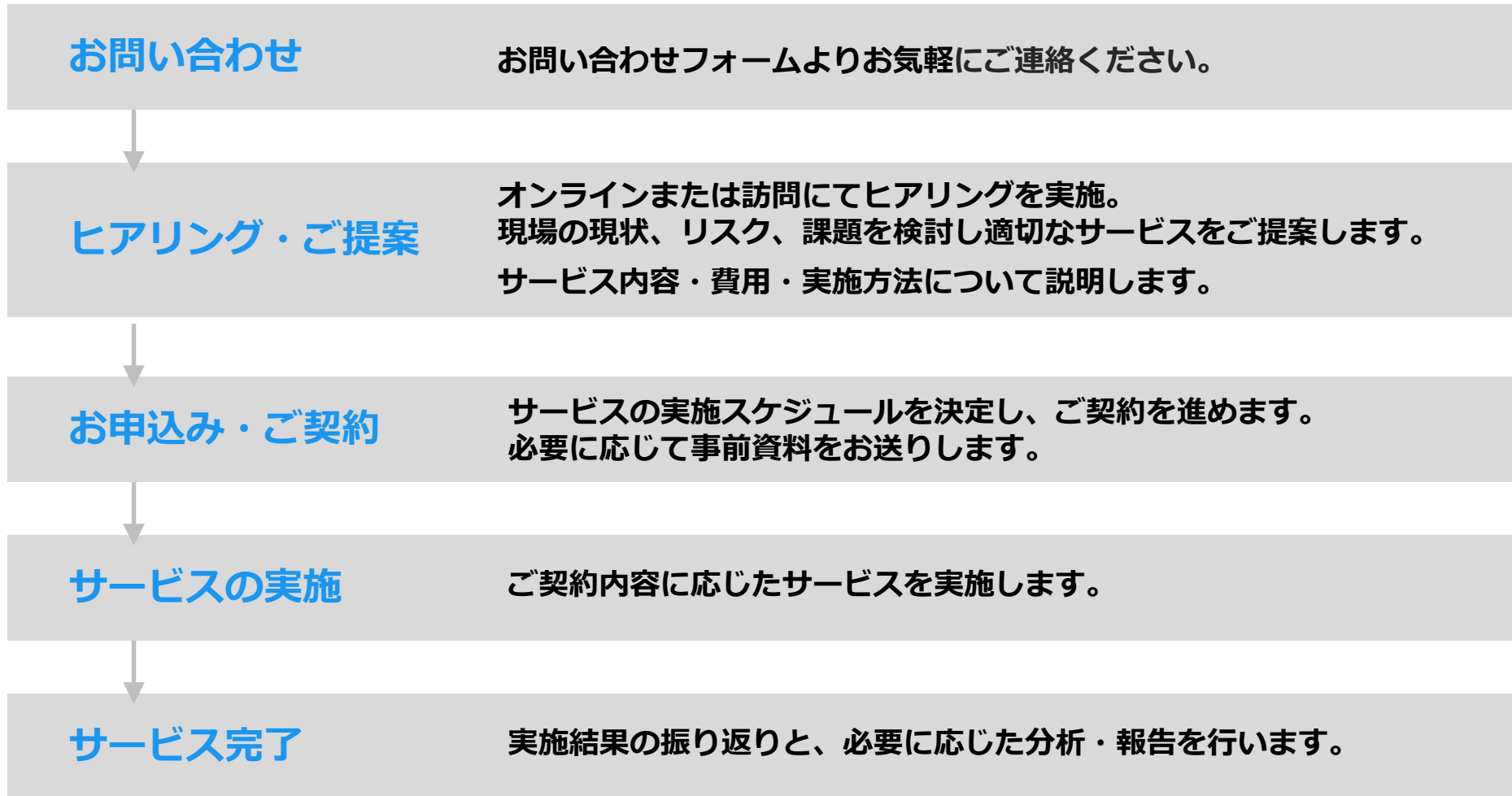
サービス	内容	料金（税別）	対応人数	特徴
①フィジカルチェック & アセスメント	転倒・腰痛リスクの測定・評価 （ライト/スタンダード/カスタムプラン）	2,000円~/人	10名~	簡易測定から詳細分析まで選択可能。 リスク判定を通じて、安全管理の改善をサポート。
②転倒腰痛対策教室	転倒・腰痛の基礎知識と実践的 対策を学ぶ90分の研修プログラム	80,000円/回	20名まで	講義+実技を組み合わせ、職場で取り組める具体的な対策を学べる。
③本気のラジオ体操 + ビフォーアフターチェック	正しいフォームでラジオ体操を 実施し、運動習慣を定着させる プログラム	180,000円 (1ターム)	20名まで	ビフォーアフターチェックで、効果を可視化し、 継続的な運動習慣を促進。
④職場のフレイルチェック	従業員のフレイル（身体機能低下） を評価し、予防対策を提案	100,000円/回	20名まで	企業ブランディングにも活用可能。運動施策の計 画策定から実施までサポート。
⑤スポーツエールカンパニー 認定サポート	企業の健康経営の取組を評価し、 認証取得をサポート	150,000円~	—	筋力・バランス能力などを総合評価し、安全な作 業実施への改善策を提示。

※②、③、⑤は人数を追加できます。別途追加参加費用の設定があります。

フィジカルチェック & アセスメント プランの詳細



	ライト	スタンダード	カスタム
フィジカルチェック	1回	2回	2回
専門家対応	コメントのみ	オンライン (1回)	現地訪問 (1回) オンライン (1回)
アウトプットシート	あり	あり	あり
個別の運動指導	あり	あり	あり
継続サポート	—	あり	あり
成果の確認と今後の提案	—	あり	あり
説明	<p>シンプルにフィジカルチェックを行いたい企業向け。 専門家のコメントと運動指導が含まれており、最低限のフィードバックが提供される。</p> <p>理学療法士によるフィジカルチェックを受けられる訪問型も選択可能。</p>	<p>より深いフィードバックとサポートを求める企業向け。</p> <p>3か月ごとに設定するオンラインでの専門家対応が追加されており、フィジカルチェックは6か月間隔で年に2回行えるため、継続的な評価とリスク追跡が可能。</p>	<p>最も包括的なプランで、現地訪問とオンラインサポートの両方が含まれている。</p> <p>直接のフィードバックと継続的なサポートが得られるため、最大限の効果を期待できる。</p>
料金 (対応人数)	<p>2,000円/人 (10名～)</p> <p>※訪問型の場合、3,500円/人 (20名～)</p>	月額50,000円	<p>月額70,000円～</p> <p>(対象人数に応じて個別相談)</p>
実施期間	単発 (1回のみ)	6か月契約	6か月～12か月契約 (継続可)



サービス完了後、ご希望に応じてフォローアップも可能です。お気軽にご相談ください。

Q.どのサービスを選べばよいかわかりません。相談は可能ですか？

はい、お客様の状況や課題に応じて最適なプログラムをご提案します。
まずはお問合せいただき、現場のニーズに合ったプログラムを選定しましょう。

Q.フィジカルチェック&アセスメントの結果はどのように活用できますか？

転倒・腰痛リスクを可視化し、職場全体のケガのリスクの現状把握と予測に活用できます。
測定結果を基に、従業員個々のカラダコンディションだけでなく職場全体のリスク傾向を分析し、適切な運動指導や安全対策を提案します。
単なるリスク評価にとどまらず、企業の健康経営や生産性向上の基盤づくりに役立ち、長期的な職場環境の改善につながります。

Q.本気のラジオ体操+ビフォーアフターチェックは、どのような企業に向いていますか？

ラジオ体操を取り入れたいが、続けるのが難しいと感じている企業や、運動習慣を職場に根付かせたい企業におすすめです。
形だけの体操ではなく、正しいフォームや動作のポイントを専門家が指導し、転倒・腰痛予防につながる実践的な運動習慣として活用できます。ビフォーアフターチェックで体の変化を可視化し、効果を実感しながら継続できる仕組みになっています。

Q.職場のフレイルチェックは、何歳くらいの従業員を対象にするべきですか？

50歳以上の従業員を対象とするケースが多いですが、体力の衰えが気になる従業員や、定年延長を見据えた健康管理をしたい企業にも適用できます。
本プログラムでは、理学療法士が専門的な視点で評価を行い、測定結果をもとに適切な運動指導やリスク低減策を提案します。
身体機能の低下を早期に把握し、個別に適した改善策を講じることで、健康的に働きづつけられる環境を整えることが可能です。

Q.スポーツエールカンパニー認定を取得するメリットは何ですか？

認定を取得することで、企業の健康経営の取組を対外的にアピールできます。
また、従業員の健康増進につながり、結果として生産性向上や離職率の低下にも寄与します。

会社概要と代表者について



【Mission】
はたらく人のカラダを守り、企業の活力向上につなげる！
作業負担の軽減にロボットを！
作業者のコンディションアップにフィジカルチェックを！
健康管理と安全対策で、安心できる職場環境の実現へ！

会社名	ロボタスネット株式会社
所在地	京都市下京区烏丸通七条下ル 京阪京都ビル8階
代表者	逢坂 大輔
事業内容	労働災害予防と介護のデジタル変革（DX）を推進 働く人の健康と安全を守り、企業の活力向上を支援

ロボタスネット (Robo+.net) は…

作業負担の軽減に「ロボットを足す」から始まり、私たちは働く人の負担を軽減する技術の導入と、働く人のカラダ自体をメンテナンスする大切さを再確認しています。

企業全体で安全への対策を組合せ、誰もが安心して働ける職場環境の実現を支援しています。

アシストスーツ
の
窓口

転倒・腰痛対策
.com

【代表者プロフィール】

逢坂大輔 (Daisuke Osaka)

転倒・腰痛対策の専門家／理学療法士／作業管理士



【メッセージ】

理学療法士×作業管理士として企業の転倒・腰痛対策を支援しています。企業の現場に入り、作業負担の軽減につながる改善提案や転倒・腰痛・肩こり対策のコンディション改善セミナーを行ってきました。

腰の負荷軽減に有用なパワーアシストスーツの普及活動を行い、専門サイトの運営や大手企業や官公庁からも調査依頼を受け報告書を提出してきました。機械技術だけでなく作業環境の最適化にも注力しています。

現在は、労働現場における転倒や腰痛アクシデントを防ぐために、作業員個人のフィジカルチェックによるリスク可視化を推進しており、理学療法士としての現場経験を活かしたサービスを開発しています。

そして、休業4日以上の方災原因をなくし、働く人の健康を守り、企業の活力向上に貢献することを目指しています。

企業ごとに最適なリスク評価と対策提案を行い、より安全で生産性の高い職場環境の実現を支援しています。



**ご不明点はお気軽にご相談くださいませ。
打ち合わせのご予約も可能です。**

contact@robotasu.net